新河岸ミュージカルに230人

9月20日、新河岸小体育館で「新河岸ミュージカル」が開かれた。

主催は新河岸ミュージカル実行委員会、協賛は(公社)板橋法人会13支部・新河岸工業会、(一社)板橋産業連合会坂下支部、新河岸町会、後援は板橋区教育委員会。

平成20年から数え、今回で17回目。地域の観覧希望者も入場でき、同校児童と合わせ、約230人の来場があった。

例年、同ミュージカルに関わってきた個人を中心としたグループ『(一社)アーティストコラボ協会』が演じた。

今回の演目は「賢者の贈り物」。お互いを思い合う、優しい愛の物語に、観客たちは幕が上がるとすぐに、オペラ歌手の歌声などプロが演じる世界に引き込まれていった。



新河岸小の児童たちも練習した歌を披露

今回は新河岸小の児童が朝の時間を使って練習してきたという「もみの木」「赤鼻のトナカイ」などを歌い、演劇を盛り上げた。

最後には全員で「Believe」を合唱、会場がひとつとなった。上演後には児童代表から演者に花束贈呈が行われ、お礼の言葉が述べられた。

会場の外では演者らが観客らを見送り、一緒に記念撮影するなど、入り口周辺はしばしにぎわいを見せていた。